

おうちの はなし

290

家族の絆と家のかたち

——ともだち家族の暮らすこれからの家

- 昔の家・今の家
- SNSが変える家族像
- 新しい家族の家



モノが語ることはなく、ただ人の居場所だけが人の関わりを語る。

暗黙は人の交わりに困って変化する。誰が主人でもない。

暗黙的な規範はどこにでも発現する。そこはいわずとも誰かの席。

『骨組み』

身体を支える骨はとても大切です。姿勢が悪いと肩こり、腰痛や、膝の痛みにつながることは良く知られていますよね。

先日、棟上げされる様を見学する機会がありました。

大きな木材をクレーンで引き上げ、大工さんたちが大きな槌で、コーンコーンと打つ音の美しさ、スポリと収まる木組みの美しさにずっと見とれていました。

棟上げされ下から見上げると、木材の構造体で組みあがった骨組みの美しいこと！惚れ惚れしました。

柱、梁、筋交い、その全てが美しいのです。また木材の清々しい香り。

この家はいい家になると直感で感じることができました。

美しいものにはあまりその上に化粧を施したくありませんね。経年劣化もあるでしょうし、色も変わっていくでしょう。落ちない汚れがついてしまうこともあるでしょう。それもこれからの楽しみとなります。

この骨組みが安全に、安心して暮らせるようにこれからずっと守ってくれるのだと思うと、愛しく思えました。

どこかで棟上げをしている現場があれば、遠くからでも良いのでどうぞ眺めてみてください。他の人の家であってもちょっとしみじみとした気持ちになりますよ！



ママはインテリアコーディネーター

一般社団法人 日本インテリアアテンダント協会 理事長 小川千賀子

家族の絆と家のかたち

家のかたちは、その時、その時の暮らしぶりを反映したものです。

さまざまな要素によって、変化もしてきました。

しかし昔も今も、2人の親と子どもから

家族が成り立っていることは変わりません。

でもちょっとしたことで、家族の姿も暮らし方も変わります。

SNSの時代になって、これまでとは違う若い家族の暮らしも

見え始めています。それも素敵な暮らし方です。

どのように今の家のカタチが変わり、

そしてこれからどのような家になって

行くのでしょうか？

ともだち家族の暮らすこれからの家

今の家

今、住んでいる家は、どのような家でしょうか？

玄関を入ると、靴を脱いで廊下に入ります。その廊下から扉を開けてLDKへと入り、個室につながります。

このような表現をすると、戸建て住宅だけでなくマンションやアパートの間取りでも、同じようなものです。玄関先の廊下から各部屋につながれば、マンションになり、その間に階段があれば戸建て住宅のパターンです。家族が集まる場所と個室でできていると考えれば、それほど変わることはないと思えません。

世界の紀行番組で紹介されている家を見ても、似たようなものです。特に古い街になるほど、変わっていないように感じます。

でも、確実に暮らしている人は変わり、環境も変わりました。その変化の中で若い夫婦は新しい日本の住まい文化を生み出そうとしているように感じます。やがて近いうちに家のかたちを変えることになるかもしれません。

それはどんな家になるのでしょうか。

昔の家

近代になって、じつは日本の家にはとても大きな変化がありました。その代表が、個室ができたことです。たくさん残されている古民家には、個室はありません。それは近代の日本が、西洋化という文化の大転換期を迎えた時に生まれたものです。そして今では、個室がある家はあたり前のかたちです。

もうひとつ個室と同じように大きな変化をもたらした部位があります。それは玄関です。古来の家には、土間や縁側があって、家族はそこから出入りを

していました。それ以前に門や玄関を構えるのは、お上の許しがないとできませんでした。

それは農家の作り方だけではなく、当時の都市型の町家でも一緒です。やはり土間があってそこから出入りをしています。玄関は、西洋の民主化が伝わり、平等な世の中になった象徴なのです。

こうした変化が劇的に起きたかという、じつはそうでもありません。ゆうに半世紀以上もかけて、ゆっくりと変化してきたことです。

戦前までは、昔からの家がまだたくさん残っていました。現実に自分の体験として思い出を残している人たちもたくさんいます。

本当の大転換が起きたのは、戦後のことです。敗戦で破壊された街や家々が建て直されることで、一気に新しい家ができました。しかも、できれば日本の古い伝統から脱却することが望まれた時代でもあります。

国も先導して、新しい家のかたちを作り上げようとした。DK=ダイニング・キッチンが生まれたのもこの時です。食事をする部屋と寝る場所を分けて、個室を作ることが推進されます。

DKに集まり談笑する家族の姿が、まるでアメリカのホームドラマのような風景となり、家族の絆の象徴となります。

家族の絆と家のかたち



ともだち家族の暮らすこれからの家

とは別に、リアルに顔を合わせることができなかった人たちと、会って話せることの喜びを、改めて感じることができました。

つまり家族の絆は、家族+友だちの絆として新しい時代を迎えようとしているのです。独立して隔離された核家族とは違う、少しソーシャルに開放された家族のイメージです。たとえば家族の友だちが訪ねてきても、すぐに仲間の顔が確認できるような家です。

現代の標準的な家にリビングが提案され始めたころ、ホームパーティの風景が語られていましたが、そのような家族の理想像ではなく、自然と人が集まってくるイメージです。



実際に新しい家族と友だちの絆を持つ人たちは、時間に拘束された集まりではなく、三々五々と好きな時に集まり、好きな時に帰るという集まりが開かれています。そこにたまたま参加できなかった友だちも、SNSを通じて参加している意識を持ちます。それは決してバーチャルではなく、それがリアルな人とのつながりと考えています。

そんな新しい家族像の、チェック項目を作ってみました。あなたはどれだけあてはまる項目がありますか。8項目以上あれば、新しい家族の仲間かも知れません。この「おうちのはなし」をお届けしている建設企業のみなさんと、新しい家族の家をデザインしてみませんか？

こうした情報社会は、個人の時代へ向かうと危惧されていた時もありましたが、逆に人と人がつながりやすい社会になったのです。そのための便利なツールが、SNS=ソーシャル・ネットワーキング・サービスです。SNSを使えば、友だちの輪はどんどん広がります。広く普及するといろいろと心配することもあります。もはや後戻りはできないほど浸透しています。

当然のことながら、こうしたSNSのライフスタイルは家族、家族の絆、家族と過ごす家の中にも入ってきます。これからの家は、SNS社会に対応した家というのがトレンドになるのかもしれません。

新しい家族の家

スマートフォンを子ども達が持つようになると、部屋にこもるとか、家族と食事中にも使用するとか、マナーを含めて心配する声も聞かれました。そして家族の絆が、情報社会によって壊されると危惧されたこともあります。

しかし見方を変えれば、友達つき合いの良い人間が増えていると考えることもできます。

それは夫婦の関係においても同じです。夫婦に拘束されているのではなく、互いに友だちがいることは楽しみの域を広げてくれます。夫婦であると同時に、2人は友だちでもあり、それは親子の関係も同じで、互いに1人の個人として尊重し合います。それはシェアハウスのライフスタイルが受け入れられているのと同じことです。

さらにコロナ禍を経て、リアルとリモートでの人との繋がりや経験と価値を再確認しました。同じ家にいた家族

西洋化ではなく都市化

戦後の家族像と住宅の大変換は、じつは西洋化というよりも都市化というべき変化です。多くの人々が地方から都市へと出てきて、戦争からの復興と高度成長期を支えました。

都市圏の周辺では、多くの土地が住宅地へと変わり、たくさんの家が建てられれば、急激に家のかたちが変わるのも当然です。でも、家の中には和室が残されていました。単純な西洋化ではないのです。

この時に、家族の形態も大家族から小さな核家族に大転換しました。昔からの地縁や因習・慣わしから解放され、親子2世代の家族だけで自由を満喫する家になります。そして古くて複雑な家族と地域の絆は、親子という単純な家族の絆を表すことになります。

核家族がつくる団地や街並みは、隣にどんな人が住むか分かりません。住宅の玄関は社会と家族との境であり、どんなに小さな家にも、それなりの玄関が作られています。

同時に、限られた土地を生かすために、新しい家の多くは2階建てになります。新しい2階の空間には、足りなかった部屋として子どもの個室が作られました。さらに土地が狭まると、総2階となり、主寝室も2階に移動します。

この間に、住宅の設備機器も技術革新し、お風呂やキッチンも核家族の必須アイテムとして導入され、今の標準的な家のかたちになります。それが見本となっているので、マンションの間取りも大して差がありません。



シェアハウス・スタイル

しかし、また少しずつ変化の兆しが見え始めているようです。都市化と同じくらい、大きな人の動きが始まっているのです。こうした変化をもたらすのは、いつの時代でも若い世代からです。

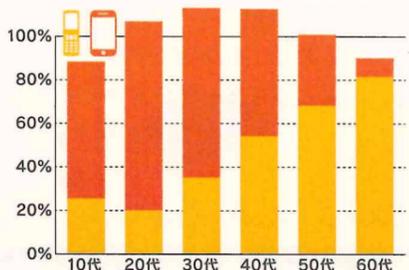
最近のニュースで、シェアハウスに住む若者達の姿を見たことがありませんか。都市を中心として、このシェアハウスが増えています。

シェアハウスというのは、リビングや風呂などの水回りを共有して、各人は個室に暮らす居住形態です。アパートに暮らすのとは違い、共有スペースがある分、住まい手の関わりは深くなります。こうしたシェアハウスに、男女の差もなく知らない者同士が住んでいます。欧米では古くからありましたが、ようやく日本でも普及し始めました。

このシェアハウスの中では、まるで家族のような暮らし方が展開されます。ただし親子の関係ではなく、兄弟姉妹のような関係です。もちろん平等で主従や主客の差も関係ありません。ですからたとえばお茶を飲むにしても、自分が飲みたい時に自分の分だけ淹れて飲みます。もちろんついでに他人の分まで淹れることはあっても、献上したり、もてなすことはありません。それだけに気楽な仲間と過ごす快適さがあるのです。

SNSの時代

こうしたシェアハウスのライフスタイルが受け入れられている背景には、どうやら情報社会があります。携帯電話からスマートフォンへと変わり、さらに子ども達にまで広がっています。一家に一台の電話の時代はすでに遠い昔のことで、情報機器は今や一人一台、誰でも持っています。



- 子どもがスマホを持つのも仕方ない。
- 子どもは多くの友だちに恵まれて欲しい。
- 子どもの友だちとも、フランクに話せる。
- 子どもが友だちを連れて来られる家にしたい。
- 家族も友だちも分けへだてはしない。
- 夫婦も時には、独立した男と女でありたい。
- 仕事以外の友だちつき合いも大切にしたい。
- 自分の趣味や活動を、家族が応援してくれる。
- 友だちとの間で時間に縛られるのは好きではない。
- 自分が飲むお茶は、自分で淹れるようにしている。
- 自分の気に入ったものは、分かち合いたい。
- 分担ではなく、得意な家事仕事がある。
- 相手が遠慮しないようにと考えている。

モリナルマドリ



1F 20.3坪 2F 15.3坪 TOTAL 35.5坪

2間半の空気感

家族が集う中心の部屋を、一般的な2間(3.6m)でなく2間半(4.5m)のスパンで構成。それだけで空間の豊かさは大きく変わる。ダイニングを主となる空間として、リビングが静かに時間を過ごす空間となる。



和のしつらえ

和のテーブルセッティングは特別な日にもピッタリです。



ダイニング

ダイニングテーブル FIS/プラン	壁クロス	リリカラ/WS-4007S
ダイニングチェア SOGO/ウィン I	幅木	DNP/K9-314
サイドテーブル QUON/テーブル天版・脚	フローリング	朝日ウッドテック/ネダレスフラット/エアリスグレイシュブラウン
ペンダント yamagiwa/P2885B	レバーハンドル	カワジュン/1FKCCNLW
木製扉 DNP/WS-5111E		
天井クロス リリカラ/K9-314		



お仏壇の処分・引越し

「最近、増えているのが、お仏壇の処分の相談です」と話すのが飛騨高山の仏壇工芸ほりお。ほりおでは処分することを「お仏壇のお焚き上げ」と呼び、感謝の気持ちをもって、読経後に焼却処分を行っています。

(日本全国対応、離島除く)



処分する理由は「実家を処分するが、お仏壇はどうしたらいいのだろう」「事情があって、手放したい」など家庭の事情に合わせて多岐にわたります。また、引越しの際、運送会社が引き受けてくれないという、お客様の声から生まれたのが「お仏壇の引越し」です。仏具などを外すことから、新しい住まいでの設置、飾りつけまで、ほりおの職人が行います。

(対象地域は東海エリア北信越エリア)

お客様の相談は「こころ」に関することにも及びますが、ほりおでは経験をいかし丁寧に対応しています。

有限会社 仏壇工芸ほりお

ひとに教えたくなる チョットいい話

お仏壇の引越しの際に、ただ運ぶだけでなく簡単なクリーニングも行います。また汚れのひどい場合や金箔の擦れ、破損がある時などは、お客様のご予算・ご要望に応じてお洗濯や修復をご提案させていただきます。

「新居の暮らしに合わせ、お仏壇も綺麗になりとても嬉しい」「やっぱりプロにお願いして良かった」などのお声を頂いています。

- 価格: ご相談
- 403掲載商品: G-0014_047

www.order403.com/



エウレーカ

古来、日本人のお風呂好きは深く根づいています。加えて湯船に浸かるといふ日本の入浴の風習は、シャワーを浴びることとは違う健康への効用が考えられます。

単純に清潔さは、石鹸を使い汗や垢を洗い流すことでは一緒です。しかし、湯船に浸かることは、清潔さ以上の効

用をもたらしてくれます。なによりも湯に浸かることは、体を温めてくれます。そして汗をかけば身体の老廃物を排出し、体温がほどよく上がることで免疫機能が活性化されます。さらに風呂を出た後の睡眠を呼び込んでくれます。まさに健康の基礎を作ってくれるのです。そればかりか、脳が活性化されるという話もあります。下半身には筋肉の70%に当たる太ももの筋肉があり、この太ももの血流が良く



なると、脳の血流も盛んになるというのです。ですから、お風呂に入るとさまざまな発想が浮かび上がってきます。

古代の学者アルキメデスが浮力を発見した時に「エウレーカ」と叫んだのも、お風呂の中でのことでした。

さらにお湯に入った時に大きなため息をつく、まるで悪いことを吐き出したかのように気楽になりま

す。なぜか、くよくよ、メソメソしながら風呂には入れないものです。ランニングハイと同じようにドーパミンが分泌されているのでしょうか。

お風呂に浸かることは、じつは心の中まで洗い流して、精神の健康も築いてくれているのです。湯に浸かる習慣を、一般家庭にまで普及しているのは日本だけでしょう。

ただ一方で、シャワーで済ませている欧米社会に比べて、給湯によるエネルギー消費量は、日本の方が多くなります。それでもこれだけの効果があるのであれば、断熱と同様に給湯のしくみも発明する必要がありそうです。

おうちのはなし

いつかは建てる、住まいづくりのための、情報紙「おうちのはなし」

※発行内容は予告なく変わることがあります。



日本の住宅建設の担い手
 住まいづくりの手順
 長期優良住宅制度
 建てるなら、やっぱり木の家
 家歴書の価値
 洋風デザイン・和風デザイン
 建築費の内訳の見極め方
 住まいづくりにかかる諸経費
 太陽光発電住宅特集
 家庭内事故と対策
 これからの住まいと暮らし

住宅情報紙「おうちのはなし」を年間購読しませんか？

年間24回発行×単価220円+配送料110円
年間7,920円(税込)
毎月1日・15日頃、ご自宅にお届けいたします。

TEL 03-6272-6434
FAX 03-6272-6449

〒102-0072 日本橋蛸殻町1-3-5 7F
www.ouchi874.org/

一般社団法人 住まい文化研究会

リフォームに、新築に、
住まいづくりのセカンドオピニオンをお届けします。

うちのはなし 220円(税込)

www.ouchi874.org/

発行人: 一般社団法人 住まい文化研究会
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸船町1-3-5 7F
主筆 石川新治

うちの家計簿

住まいの資金と税金

こんにちは、
アールです!

L.R.コンサルティング株式会社
代表取締役 吉川浩一

令和6年1月1日16時18分頃、石川県能登地方で発生した地震(M7.6、最大震度7)はお正月気分を一気に吹き飛ばす大事件でした。被害状況が明らかになるにつれ、大地震が起きる度に問題になる1981年6月1日以前に建てられた「旧耐震基準家屋」の倒壊による悲劇の連鎖が報告されています。総務省統計局のデータによると持ち家総数30,316,100戸のうち1980年以前に建てられて耐震診断も耐震改修もしていない家が全国に10,378,600戸。じつに34.1%が未だに旧耐震基準のまま放置されています。

今回の震源地石川県では持ち家総数291,400戸のうち122,200戸、なんと41.9%が旧耐震基準の建物でした。



あなたの家やご両親が住まれている家は大きな地震が起きた時、大切なご家族を守ってくれるでしょうか? 南海トラフの巨大地震が近いと報じられている今、今年は我が家の防災対策元年として耐震診断をされては如何ですか。診断費用は高額になることもありますので、先ずはお近くの信頼できる工務店などで簡易診断を受けてみましょう。

そのうえで補強や改修が必要なようであれば見積もりを依頼、補助金を活

用するのであれば正規の耐震診断(インスペクション)を受けるようにすればよいです。補助金には工事費以外にも耐震診断の費用を補助してくれるものもあります。費用の目安表をつけておきますので参考にして下さい。

工事内容	目安の費用
耐震診断	5万円~50万円 (場合によっては無料)
耐震金物の取り付け	10万円~40万円
壁に筋交いを設置 (1間=182cm)	25万円~30万円
外壁の柱や土台に耐震パネルを設置	65万円~
1981年より古い住宅 全体の耐震補強	150万円~ (物件の状態によって大きく異なる)

住まい文化の栞

経験という技術

地震が起きれば建物が壊れる。そんな経験をたくさん重ねて来たからこそ、建て方も進化してきました。

たとえば各地に残っている城郭も、津波の被害が及ばない場所に建てられています。経験から、津波や水の出る場所は液化化を起こしやすい場所でもあり避けられてきたのでしょう。

考えてみれば、ほんの100年前には、今のような杭を打つ技術もありませんでした。これまでの木造に比べて重たい煉瓦造りの東京駅を湾沿いに建てるのに、松杭だけで建てています。それでも関東大震災を耐えることができました。

城郭を建てる前には、重たい石垣を積み重ねます。単に積み重ねたのでは、地盤が沈んで壊れることになりかねません。でも、杭も打たずに、経験から壊れない建て方を習得していました。

それは版築という伝統技術です。建てる前にはでき

る限り深く根入れをして、土と漆喰を混ぜた物を層状に突き固めてゆく版築をつくれれば、地盤が沈みにくくなることを知っているのです。

オーストリアの土木学者テルツァギが、これを支持力を公式として表したのは20世紀になってからです。地中深くに力を届けば、周りの土砂の重さで押さえ込むことができるのです。

版築は法隆寺どころか、中国の万里の長城でも使われてきました。さらに古く、中国では4000年前の竜山文化時代にも使われていた痕跡が出土しています。

おそらく、人類は地面に穴を掘って、柱を落とし込んで建てることから始めたに違いありません。でも、地震などで不都合の経験を重ね、何世代も話を継ぎ、試行することで習得してきました。

そして遠い日本にも、版築の技術が伝わって、、、と考えたくなりますが、その中国の遺跡よりもさらに遡る縄文時

代の三内丸山遺跡でも、版築が見つかります。遠い古人の経験という技術は侮れないものです。



冬の花・ツバキ

心身ともに改まり、健やかな一年を願う新たな年の始まりである1月は、本格的な寒さが始まる頃でもあります。松竹梅をはじめ、この時期の寒さの中でも枯れない強さを持つ植物は、生命力の象徴として尊ばれてきました。

そんな冬の植物の中でも、寒さや雪の中で赤い色はひときわ目を引きまします。つややかな赤い実をつけるセン

リョウ、マンリョウにナンテン、そして寒さの中で花を咲かせる寒椿もそのひとつです。寒さに耐えて冬の間に花を咲かせます。

花の少ない冬に、寒空の下で凛として開く寒椿の花を眺めると、冷たい空気の中でも気分が和みます。すっきりと整った紅白の花は、お正月飾りとしてもよく使われています。

寒椿は樹形が自然に整いやすく、ヤブツバキなどと比べて樹高が抑えられているので、一般家庭でも育てやすい庭木です。刈り込みにも強いので、低めの生垣に仕立てるのにも向いています。

ツバキと同様、挿し木で簡単に増やすことができるのも嬉しいところです。日向でも半日陰でも育ち、ほとんど

手を掛けなくても丈夫に生育しますが、害虫のチャドクガが発生しやすいので注意しましょう。



獅子頭

寒椿を代表する品種。すべての寒椿の園芸品種は、この花から生まれたと考えられています。



勘次郎

つややかな緑の葉に、紅色の花が映えて美しい。よく普及している品種の一つです。



乙女山茶花

丸みを帯びた柔らかなピンク色の花弁が重なる、乙女椿とよく似た花形です。



富士の峰

真っ白な花が爽やかで美しい。花弁が幾重にも重なる豪華な千重咲きの品種。



心地よい暮らしは、
あたらしい窓から。



断熱性に優れた樹脂を室内側に使った「エピソードNEO」。エアコン効率を高めながら、不快な結露も抑えます。お好みのカラーが選べて、インテリアにもマッチ。毎日の暮らしをもっと素敵に、もっと快適に彩る、あたらしい複合窓です。

※【平成28年省エネルギー基準】「建具とガラスの組合せによる開口部の熱貫流率 樹脂と金属の複合材料製建具+Low-E複層ガラス(中空層10mm以上)」国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」による。

あたらしい アルミ樹脂複合窓

エピソードNEO

組合せは全21パターン

外観色	ブラウン	カームブラック	ビュアシルバー	ホワイト	ブラチナステン
内観色	クリア	ナチュラル	ダークブラウン	ホワイト	ブラチナステン

YKK AP株式会社 お客様相談室 ☎0120-72-4134 受付時間/月~土9:00~17:00(日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く)

窓を考える会社 YKK AP